



施設長
山田 和憲

昼間の気温は、まだまだ30度越えの真夏日が続いておりますが、南国奄美も朝夕には、めっきり涼しさを感じる今日この頃です、また大きな台風の直撃等もなく、穏やかな秋を迎えようとしております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

これまで、衛生管理を徹底し、入所者の新型コロナ対策には万全を期してきましたが、第7派オミクロン株の感染力の猛威には勝てず、ついに8月中旬から9月中旬にかけて、なぎさ園でも入所者の半分、職員の3分の2が罹患しましたが、回復しております。今後ともさらに衛生管理の徹底を図ってまいります所存でございます。

9月末現在第7派も収束に向かっているものと思われま

す。また、世界情勢をみてみますと、この新型コロナによる経済活動の低下で物資の不足(現状は回復してきていると思われま

す。)、今年2月のロシアのウクライナ侵攻以降エネルギー、穀物価格の高騰等私たちの生活に大きく影響してきております。なぎさ園の業務費用(水道光熱費、食材費等)もかなりかさんできて運営にも影響がありますが、その費用は多くは措置費として公費で賄われております。しかしながら今年度の査定では、人件費について改正はあったもののこれらの事柄が含まれておりませんが、このことを理由に入所者の処遇が低下するようなことがあってはなりませんので少し厳しい運営となりますが、頑張っております。

新型コロナ禍となり昨年と似たような文章になりがちですが、今回の新型コロナ対策として、引き続きなぎさ園では、実習・ボランティアの受け入れ中止、年中行事の縮小、地域住民との交流の中断、ご家族のみなさまの面会の制限等を昨年に引き続き今年も実施し、職員の毎日の体温チェック、手洗いの徹底、休暇時でも行動制限のお願い等を行い今日に至っております。

そのような中でも、少しでも入所者の娯楽の一助となればと、職員の工夫を凝らしたレクリエーション、出し物等で喜ばれております。

ワクチンの普及等による抗体の形成、ウィルス自体の弱毒化等で普段の生活を取り戻す日も近いのではないかと期待しております。それまでしばらくはご迷惑をおかけいたしますが、ご辛抱をお願いいたします。

なぎさ園での生活の一部



もちつき会



運動会



なりもち飾り



松元洋品店出張販売



ドライブ遠足



誕生会



決算報告

自 令和3年4月1日～ 至 令和4年3月31日
令和3年度 決算状況

収入 単位円

項目	事業費	割合(%)
積立資産取崩収入	0	0.00%
養護 老人福祉事業収入(措置費)	124,399,926	74.93%
特定・訪問 介護保険事業収入	40,924,090	24.65%
その他の収入	640,998	0.39%
受取利息配当金収入	2,240	0.00%
寄付金収入	50,000	0.03%
収入合計	166,017,254	

支出 単位円

項目	事業費	割合(%)
人件費	88,727,102	53.58%
人件費一部 退職給付金	700,500	0.42%
法定福利費	10,020,834	6.05%
役員報酬	300,000	0.18%
事業費	41,975,737	25.35%
事務費	7,806,123	4.71%
支払利息	614,244	0.37%
固定資産取得支出	5,342,980	3.23%
その他の支出	508,800	0.31%
設備資金借入金元金償還	12,156,000	7.34%
積立資産支出	8,480,084	5.12%
支出合計	165,611,070	
当期資金収支差額合計	406,184	
前期末支払資金残高	75,003,980	
当期末支払資金残高	75,410,164	
積立金 人件費積立金	42,500,000	
施設設備整備積立金	19,000,000	

お知らせ

社会福祉法人蒼寿会の理事長を10年間務めていただいた向井奉文理事長が去る6月にご勇退され、新理事長として稲源一郎先生を迎えることとなりました。稲先生はなぎさ園の嘱託医も兼ねており、入所者の健康管理から施設の運営まで携わっていただくこととなります。これからはなぎさ園の職員一同、稲理事長を中心に入所者の安心で安全な生活を心がけていきますのでよろしくお願い致します。

奄美大島警戒レベルと面会の目安

新型コロナウイルスの警戒レベルに応じて面会の制限を設定しています。下記を参考にされて下さい。

レベル5
窓越し面会可

レベル4～3
感染対策を行ったうえで玄関での面会可

レベル2
面会室での面会可

レベル1
館内立ち入り可(自室での面会可)

今年はインフルエンザの流行も懸念されています。流行期には面会制限も変わってきますのでご了承下さい

～苦情内容と解決結果の報告～

・面会もできない、外出もできない、病院にもいけない、等々頻りに苦情がありますが、その都度丁寧に説明させていただいています。中には新型コロナウイルスの事を理解できず「私ばかりいじめて！」と怒る方もいらっしゃいます。毎回傾聴をして落ち着いてもらっていますが、怒るサイクルが短くなってきておりストレスが溜まってきている、と感じるところです。

・窓越し面会を終えた入所者が「私は手を握りたかったのよ。声が聞きたかったのよ」と泣き出しました。認知症のある方でしたので理由を説明しても理解が得られずご家族に状況を説明しました。「直接会えるようになるまで面会は控えたほうがいいですね」との回答がありました。直接面会ができるようになったらすぐホームページでお伝えするようにしますので定期的にご確認をお願いします。

編集後記

コロナウイルスが確認されてからやがて丸3年になろうとしています。その間外出等は制限され、イベントは縮小して開催されるなど入所者の皆さんには窮屈な思いをさせてしまっており大変申し訳なく思っています。特にイベントでは外部のボランティアを呼べなくなりマンネリ化しかけていました。そこで職員が踊りやダンスを披露しようとなり、仕事の合間を縫って練習している光景が見られるようになりました。マツケンサンバやAKB48、最近では韓国のグループのダンスを踊ったりしています。コロナの収束も見えてきたように感じますが、気を抜かずに取り組んでまいります。